

2025年4月7日

報道関係者各位

福井コンピュータ株式会社

トレンドロードデザイナー BIM/CIM 道路設計 3DCAD システム「TREND ROAD Designer」、 アップデート版を 2025 年 5 月 20 日（火）リリース

～測量 CAD システム「TREND-ONE/Mercury-ONE」との連携で、最終成果物作成を効率化！～

建設業向け CAD メーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役 COO：杉田 直）は、BIM/CIM 道路設計 3DCAD システム「TREND ROAD Designer」のアップデート版を 2025 年 5 月 20 日（火）にリリースいたします。

「TREND ROAD Designer」は、米ベントレー・システムズ社から提供されている道路計画・設計・施工・運用のための業界標準 CAD「OpenRoads Designer」をベースに、国内法令および基準に準拠した道路・構造物設計が行えるよう、独自に改良を加えた日本語版 OEM 製品で、2023 年 7 月より日本国内向けに販売を開始しております。

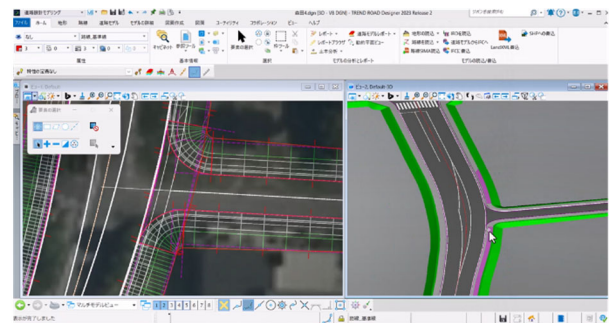
現在、国土交通省が推進する BIM/CIM 活用においては、設計フェーズでの BIM/CIM 活用業務の発注が増加すると予想され、建設コンサルタント業においても 2 次元と 3 次元を融合した設計対応が不可欠なものになりつつあります。このような状況の中、「TREND ROAD Designer」では、国内の各発注機関が定める 2D 図面の細かな仕様への対応が不十分であり、最終成果物の作成が効率的に行えないといった課題がありました。

この課題に対応するため、今回のアップデートで、弊社の測量 CAD システム「TREND-ONE/Mercury-ONE」との連携コマンドを新たに追加しました。これにより、3D 道路モデルを手間なく 2D 図面や計算書に展開できるようになり、各発注機関仕様の最終成果物が効率的に作成可能※となります。また、3D 道路モデル作成を効率化するテンプレート関連を拡充し、2 次元と 3 次元を融合した BIM/CIM 活用業務のさらなる支援を実現します。

【アップデートの概要】（TREND ROAD Designer Update3）

- 「TREND-ONE/Mercury-ONE」連携による、国内仕様成果物作成支援※
- テンプレート拡充（標準断面、土木セル、排水集水柵、道路標識）
- 既存機能のブラッシュアップ

※測量 CAD システム「TREND-ONE」または「Mercury-ONE」の測量 CAD、路線測量、縦横断測量、土量計算（詳細土量計算を行う場合）が必要になります。



 TREND ROAD Designer

【リリース日】

2025年5月20日（火）

【価格】

初回登録料 ¥20,000（税別）

年間使用料 ¥360,000／年（税別）

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業部 営業推進課 担当：牧野
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

【TREND ROAD Designer Update3 新機能の詳細】

「TREND-ONE/Mercury-ONE」連携による、国内仕様成果物作成支援

「TREND ROAD Designer」で作成した 3D モデルデータを、測量 CAD システム「TREND-ONE/Mercury-ONE」に連携させるコマンドを新たに追加したことにより、日本国内仕様の図面や帳票を効率的に作成することが可能になります。



※測量 CAD システム「TREND-ONE」または「Mercury-ONE」の測量 CAD、路線測量、縦横断測量、土量計算（詳細土量計算を行う場合）が必要になります。

テンプレート拡充（標準断面、土木セル、排水集水柵、道路標識）

標準断面、土木セル、排水集水柵、道路標識等を拡充し、業務適用範囲を広げます。

- 標準断面 : 現状 6 種 ⇒ 33 種（TREND-ONE/Mercury-ONE の標準断面などを含む）
- 土木セル : 現状 3 種 ⇒ 9 種（交差点を 4 種、取付道路を 2 種追加）
- 排水集水柵 : 現状約 100 種 ⇒ 約 250 種
- 道路標識 : 現状約 50 種 ⇒ 約 100 種



既存機能のブラッシュアップ

ご要望や不足していた機能のブラッシュアップを行いました。

- LandXML の読み込みに対応し、J-LandXML から線形の作成に対応しました。
- LandXML の書き込みでは、拡幅、横断形状（要素種別、幅員中心、舗装構成等）の出力に対応しました。
- 2D の等高線データから、指定間隔で 3D 等高線が生成できる機能を追加しました。
- 法面記号を 2D・3DCAD 上に配置できるように改良しました。
- No. 杭ピッチを設定できる機能を追加しました。
- 道路標識など任意の画像をサーフェス面に貼り付けられる材質機能を追加しました。
- 配置した集水柵に流れ込む流域を自動で描画できるようにしました。

以上